

## ■ 4. 今後の行財政改革における『新しい柏原まちづくり基本計画2008』の具体化

### 1. 公共サービスの新しい担い手との連携

- ・近年、各自治体で行財政改革が進められる中、社会的に“自分たちでできることは自分たちで” “地域のことは地域で”といった考え方が広がり、公共サービスの大部分を行政が担っていたところに「新たな担い手」が出現、行政と連携しながら公共サービスが提供されています。
- ・特にNPOは多様性、先駆性、個性、創造性、柔軟性を備え、その独自の社会的使命をもって、行政ではできない公共サービスを展開しています。
- ・行財政改革を進める柏原市では、重点的・戦略的なサービスの展開に取り組もうとしており、このような状況下で、きめ細かく市民ニーズに対応していくには、NPOをはじめとする「公共サービスの新しい担い手」との“パートナーシップが重要”となります。
- ・行財政改革と言えば予算の削減や経費の節減といった見直しばかりが注目されますが、その取り組みの一つである戦略的な予算編成から生み出される「まちづくり予算」を活用し、市民が策定に参画した『新しい柏原まちづくり基本計画2008』を、NPOをはじめとする「公共サービスの新しい担い手」と、“具体化していきたい”と考えています。
- ・また、これらの取り組みや出前講座などの仕組みを通じて、“次世代”の「公共サービスの新しい担い手」の育成にも取り組んでいきます。

今後の行財政改革における  
「新しい柏原まちづくり基本計画2008」  
の位置づけ

